

(元禄関東地震)

木更津港 津波防災情報図 (引潮図)



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面 (零位)
隆起量：平均 -0.12m (-0.46m ~ 0.64m)
Zo：1.00m ~ 1.20m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

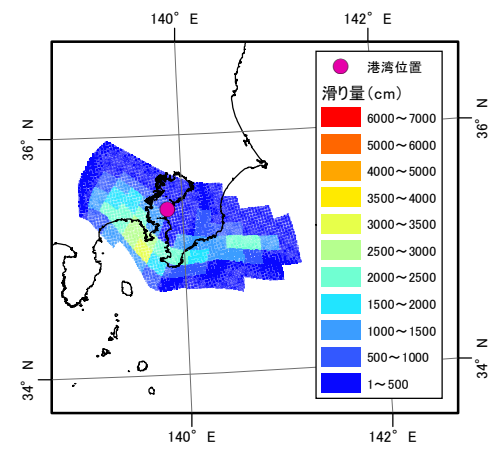
凡例

- 最大水位低下
- 3~最大3.4m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- 経時変化図出力点

- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

断層モデル



- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

元禄関東地震

モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会 (平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基盤地図情報 (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)